

プロジェクト報告書

財団法人 生長の家社会事業団

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

職員研修事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

平成24年度中に当施設全体の小規模化が実現するため、全職員が全体観をもって施設運営と自己の業務の見直しを改善する機会とするとともに、職員交流とリフレッシュ行事等のグループワークを通して、職員相互の連帯強化を図ります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

本体施設建替えにより、既存4グループホームと建替え後の本園4ホームが完成し、当施設全体の小規模化が実現しました。小規模化に伴う分散化、孤立化の弊害を事前に除去する対策を講じ、施設運営の資質向上を目指して、平成23年度福祉サービス第三者評価結果を基に、全職員が評価内容を検証し、当施設の問題点を抽出して改善案を検討するなどの研修を行った。同時に職員の交流とリフレッシュ行事等のグループワークを通して相互連携強化を体験します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

福祉サービスを提供する側は、常に最大の注意を払ってサービスを受ける側の立場に配慮する謙虚さが必要です。そのため、日々の業務を客観的に見つめ直す視点と、第三者評価結果は、貴重な改善情報の宝庫であるとの思いで取り組むことができました。

また、各グループによって研修内容を企画することで、課題に合わせた研修を行うことができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

勤務上、3つのグループにわけて10月、11月、1月に職員研修旅行を実施しました。

各グループごとに相談、計画して、宿泊場所、研修内容を決め、それぞれの課題に合わせた研修を行うことができました。また、釣りやスキー等体験研修を組み込んだことで、経験を通じて児童との行事遂行において今後の役立ちにも繋げることができました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし